

『世界遺産学研究』執筆要領

1. 投稿原稿の形態と投稿料

- (1) 原稿は、世界遺産学研究編集委員会（以下委員会）の定める執筆様式（別紙）に従って作成し、PDF 形式に直したのち、電子ファイルを編集委員会に送付する。紙媒体での原稿は受け付けない。
- (2) 投稿料は徴収しない。

2. 原稿の書式・規格と論文等の構成

- (1) 書き方種別とページ数
 - 1) 原著論文、研究ノートともに、和文または英文で執筆する。
 - 2) ページ数は原則 20 を上限とする。やむをえずこれを超過しなければならない場合には、事前に編集委員会に相談をする。
- (2) 原稿規格と組み方
 - 1) 原稿の大きさは A4 版とする。原稿 1 枚が雑誌の 1 ページに相当する。
 - 2) 原稿の余白は縦横左右 30mm とする。
 - 3) 原稿は一段組で作成し、1 ページあたり 40 文字×50 行の設定とする。
 - 4) 1 ページ目は、和文の場合、タイトル、著者名、所属、英文タイトル、英文著者名、英文所属、和文要旨、キーワード、英文用紙、英文キーワードの順で記載し、その後本文を記載する。各項目のレイアウト、字体、文字の大きさ（ポイント）、項目間の行数などは、和文用の執筆様式の通りとする。英文の場合には、英文タイトル、英文著者名、英文要旨、英文キーワードの順で記載し、その後に本文を記載する。各項目のレイアウト、字体、文字の大きさ（ポイント）、項目間の行数などは、英文用の執筆様式の通りとする。
 - 5) 和文要旨、英文要旨はそれぞれ 200 字以内、300 語以内とする。
 - 6) 和文キーワード、英文キーワードはどちらも 4 から 6 語とする。
 - 7) 原著論文、研究ノートの構成は以下の順番を基本とする。ただし、各見出しの名称は、原稿の特性によって適宜、変更してよいものとする。

はじめに（英文の場合は Introduction 以下同様）

研究方法（Materials and Methods）

結果（Results）

考察（Discussion）

結論（Conclusions）

謝辞（Acknowledgements）

引用文献（Literature Cited）

著者連絡先 (Corresponding Author)

- 8) 引用文献のスタイルは、執筆様式または各専門分野において一般的なものを用いる。
 - 9) 著者連絡先は、氏名、住所、Email アドレスを執筆様式に定めるとおりに記載する。
- (3) 表および図
- 1) 表と図はそれぞれ通し番号をつけ、原稿中の適切な場所に配置する。
 - 2) 表と図は原稿を横方向にみて、中央に配置する。
 - 3) 写真は、査読時に内容が十分判別できる程度の解像度をもつものを使用する。また掲載用原稿にはできるだけ高解像度のものを用意する。目安として1枚あたり1M～2M程度、もしくは150～300dpi程度を推奨するが、論文1報あたりのファイルサイズが20Mを超えないようにする。
 - 4) 写真は、撮影者名をタイトルの末尾に含める。
 - 5) 著作権の保護などの観点からオンライン上で公開することが不適切な美術品等については、図に含めないようにする。図版の著作権等について、万が一トラブルが発生した場合には、世界遺産学研究編集部は一切の責任を負わないものとする。
 - 6) 表および図にはカラーを含めて構わない。オンラインジャーナルであるためカラー印刷にかかる費用は発生しない。
- (4) その他
- その他、本要領に記載のない項目については執筆様式の例を参考にすること。